

平素は週刊『スプリンタートレノ AE86』をご購読いただきありがとうございます。第107号「組み立てガイド」におきまして、一部訂正と補足説明をさせていただきます。組み立ての前にご確認ください。

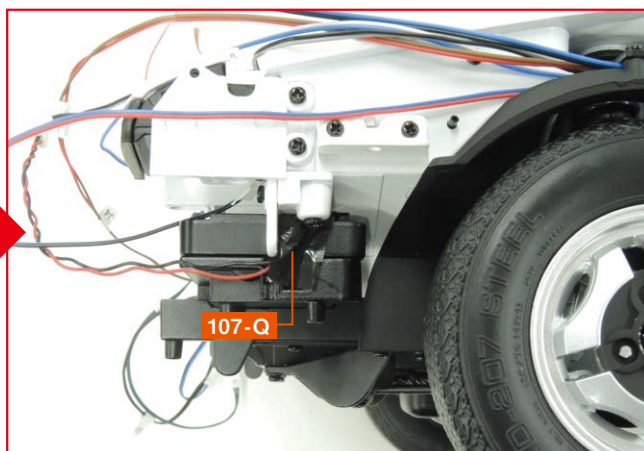
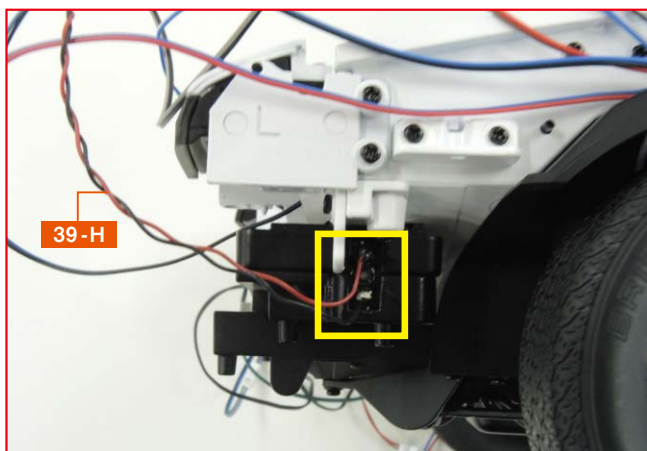
## コードを断線させないための対策をします

断線するとギミックが正常に作動しなくなる恐れがあります。

説明をよく読んで、注意して作業を行ってください。

### 対策

### 2ページ step3の前に



**39-H** リトラクタブルモーターユニットのコード(赤/黒)は、端子部分に負荷がかかると外れてしまう場合があるので、

**107-Q** ステッカー(2)の予備を1枚、モーターの端子部分全体にかぶせるように貼り、補強してください。

#### 注意!

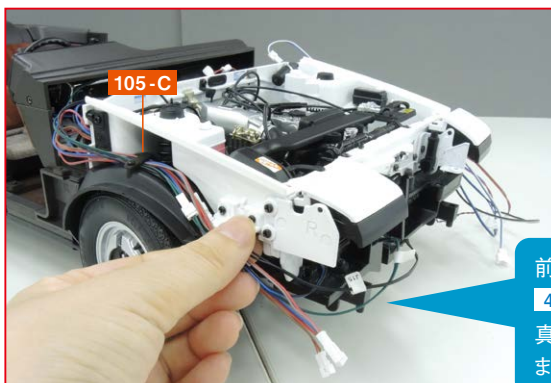
- ステッカー貼り付けの際モーターの端子部分に力が加わらないよう注意してください。
- ステッカー貼り付け後は不用意にコードを動かさないでください。
- 一度貼ったステッカーは貼り直さないでください。



動画でも  
サポートして  
います。

### 補足説明 1

### 6ページ step6



③で右側のコード類の長さを先端で揃え、前側にある2本のコードと合わせてまとめた後、**105-C** コードクランプより後方にある余ったコードは、タイヤより外側に出ないようにボディに這わせるようにしてまとめ、ダッシュボードの内側に収めてから、2カ所に **107-P** ステッカー(1)を貼ってください。

前方に出た **43-F** (J14、緑/緑)  
**43-E** (J15、黒/黒)のコードは写真  
真くらいのたるみになる程度後方に  
まとめる。

## 補足説明2 7ページ step7

③⑧のリアのコード類をまとめる工程で、コード類をボディ外側から見るとこのような状態になります。step8でボディをシャーシに取り付ける際にコードを挟み込まないように、ボディの内側に収めるよう意識してください。

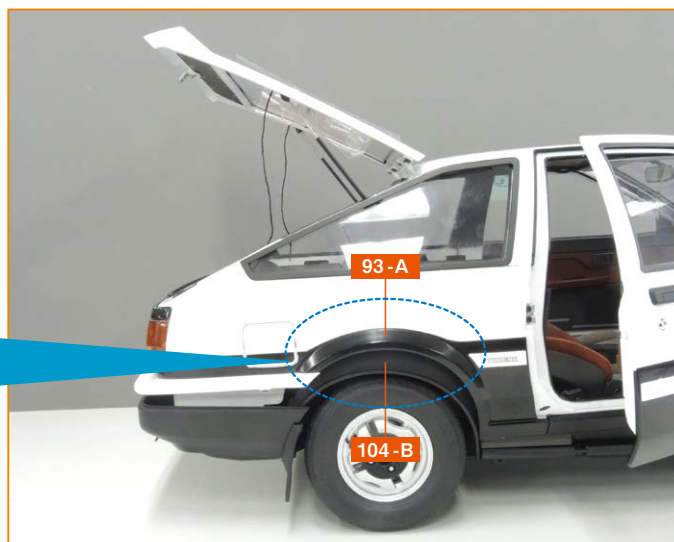


**注意!** ●ボディをシャーシにはめ込む際には各コードを挟み込まないようご注意ください。断線の恐れがあります。

## 訂正 7ページ step8

④①下の写真および吹き出し内のコメントが誤っておりました。右の写真とコメントをご参照の上組み立てていただきますようお願いいたします。

クォーターホイールハウス(R)  
104-Bのフチは、クォーター  
パネル(R) 93-Aの内側  
にはめ込む。



読者の皆さまに多大なるご迷惑をおかけします事をお詫びいたします。

株式会社デアゴスティーニ・ジャパン  
お客様サポートセンター TEL:0570-008-109  
(月～金10:00～16:00 土日祝除く)